

## 第 68 回コロイドおよび界面化学討論会

主催：公益社団法人 日本化学会 コロイドおよび界面化学部会

神戸大学工学研究科界面科学研究センター

会期：平成 29 年 9 月 6 日（水）～9 月 8 日（金）

総合講演・懇親会 9 月 7 日（木）

会場：奨励賞受賞講演、一般研究発表、一般シンポジウム（口頭・ポスター）

神戸大学鶴甲第 1 キャンパス（〒 657-8501 神戸市灘区鶴甲 1-2-1）

<http://www.kobe-u.ac.jp/guid/access/rokko/turukabuto-dai1.html>

総合講演・Lectureship Award 受賞講演（9 月 7 日（木）午後のみ）

神戸大学出光佐三記念講堂（〒 657-8501 神戸市灘区六甲台町 2-1）

<http://www.kobe-u.ac.jp/guid/access/rokko/rokkodai-dai1.html>

懇親会（9 月 7 日（木）18:15 から）

神戸大学社会科学系アカデミア館 1 階 神戸大学生協 BEL BOX カフェテリア

**主題 コロイド・界面とそのダイナミクス**

Graham が提唱したコロイドの科学はその特徴を担う界面の構造や物性の研究とともに発展してきました。材料のあるところには必ず表面があり、それが相を二分することによって界面が生じることから、さまざまな学術領域の視点からコロイド・界面化学が発展し、材料開発とその物性測定法が両輪となって発展してきたといっても過言ではありません。界面物性を左右する 1~100 nm のサイズを有する材料や相界面は 1915 年に Ostwald をして「見過ごされた次元の世界」とされて以来、測定法の発展とともに極めて詳細に知られるようになり、100 年を経た現在では汎用性の高い測定機器やそれを用いた詳細な研究が次々に進められています。一方、時間的に変化するコロイド系の反応、界面の移動、スピノーダル構造を有する界面の構築、さらにそれらの特徴ある反応系など、経時的・動的な挙動を観察する方法は時間分解能の向上とともに発展の途上であり、計算化学の発展によるシミュレーションとの併用により、新たなコロイド化学の潮流が現れつつあります。

第 68 回討論会では、「コロイド・界面とそのダイナミクス」を主題として取り上げコロイド・界面の動的挙動・反応に関わる多くの一般シンポジウムと部会員を中心とする参加者の最新の研究成果をもとに論じたいと考えています。部会員の積極的な討論へのご参加を期待しております。

協賛：調整中

URL：[https://colloid.csj.jp/div\\_meeting/68th/](https://colloid.csj.jp/div_meeting/68th/)

**催事内容（予定）**

## 1. アカデミックプログラム

## (1) 総合講演

「固液界面の構造制御、観察および機能—電気化学への展開を中心に」

物質・材料研究機構 フェロー 魚崎 浩平 氏

「理数系科目の授業時間減少が研究開発力に与える影響を明らかに  
—学習指導要領の変遷と失われた日本の研究開発力—」(仮題)

神戸大学社会システムイノベーションセンター 特命教授 西村 和雄 氏

(2) Lectureship Award 受賞講演

「Colloid and Surface Chemistry for the Conservation of Cultural Heritage」

University of Florence 教授 Piero Baglioni 氏

「Reconstitution of Motor Protein in Assembled Microcapsules」

中国科学院 教授 Junbai Li (李 峻柏) 氏

(3) 奨励賞受賞講演

科学奨励賞

「環状高分子を利用した新奇機能性ソフトマテリアルの開発」

北海道大学 准教授 山本 拓矢 氏

「界面における分子・分子集合体の動的構造制御と機能」

物質・材料研究機構 主任研究員 中西 和嘉 氏

技術奨励賞

「界面活性剤が形成する分子集合体の溶液構造解析による高機能性複合材料の創製」

ライオン(株) 副主任研究員 小倉 卓 氏

(4) 一般研究発表 (口頭・ポスター)

セッション構成と分類番号

1. 総合セッション

下記の分類にとらわれず、コロイドおよび界面化学に関するどんな研究でも発表でも発表でき、分野間での交流を図ることができます。

2. 分子集合体の科学と技術

(1) 界面活性剤 (合成・溶液物性・相挙動など)、(2) エマルション、(3) 超分子・高次分子集合体、(4) ゲル、(5) 高分子溶液、(6) 生体超分子、(7) その他

3. 組織化膜の科学と技術

(1) 単分子膜・LB膜、(2) 自己組織化膜、(3) 二分子膜 (ベシクル・リポソームなど)、(4) 界面物性 (気-液、液-液)、(5) バイオインターフェース、(6) その他

4. 微粒子とその分散系の科学(5/31付訂正)

(1) コロイド、(2) サスペンション、(3) 微粒子・ナノ粒子の理論、(4) 微粒子・ナノ粒子の合成、(5) 高分子コロイド、(6) 界面電気現象、(7) レオロジー、(8) その他

5. 微粒子とその分散系の技術と応用(5/31付訂正)

(1) 濃厚分散系、(2) 微粒子・ナノ粒子の製造、(3) 微粒子・ナノ粒子の物性・機能、(4) 微粒子・ナノ粒子の応用・実用化、(5) 材料としての微粒子・ナノ粒子、(6) バイオコロイド、(7) その他

6. 固体表面・界面の科学と技術(5/31付訂正)

(1) 固体表面構造と物性・機能、(2) 吸着と触媒、(3) 表面力・トライボロジー・走査プローブ顕微鏡、(4) 散乱・回折・分光法、(5) マイクロファブ리케이션とナノテクノロジー、(6) その他

## 7. 応用・開発セッション

- (1) 企業開発研究（製品配布可）、(2) アカデミアにおける応用研究

### (5) 一般シンポジウム

一般シンポジウムは、本討論会における発表討論および周辺分野との研究交流をより活発にするために、公募により企画された特定テーマに関する話題を展開するものです。本討論会の発展に資する新しい方向の個性的なテーマ企画を用意しております。一部のシンポジウムにおいては一般の研究発表も可能ですので、積極的にご参加下さい。

#### 1. ソフトマター界面の基礎科学（第2弾）（企画講演のみ）

提案者：小倉 卓（ライオン）・佐藤高彰（信州大）

溶液中で両親媒性分子や蛋白質の会合構造の振る舞いは、溶媒和や対イオンの存在状態に大きく寄与し、その分子会合構造特有の界面現象として解釈することができる。今回、これら界面に存在する水の状態や対イオンの揺らぎについて注目し、溶液中での会合構造状態をより深く理解できる新たな視点を物理化学的視点から活発に議論したい。本企画では、本分野において独自の研究を展開している研究者が一堂に会し情報交換を行う場を提供することで、界面現象の解明や新機能開発において新たな展開を切り拓くきっかけとなることを目指す。

#### 2. 分子シミュレーションとコロイド化学（企画講演・一般講演）

提案者：山本雅博（甲南大）

コロイド部会で主題となるミセルのサイズは、分子集合体としては通常の顕微鏡では観測出来ないほど小さいものであるが、逆に分子シミュレーションの世界では、回りの水・溶媒分子も含めて計算しなくてはならないため分子の数は非常に多い系を考慮しなくてはならない。京コンピュータに代表されるように、最近の大規模計算ではこれらの系がハンドリング可能となりコロイド・界面化学者に極めて興味あるシミュレーションも少なくない。本シンポジウムでは、現在の最先端のシミュレーションとコロイド実験化学の間の橋渡しをめざして開催するものである。

#### 3. マイクロエマルジョンを反応場とする新たなサイエンスの創成（企画講演のみ）

提案者：西見大成（人工光合成化学プロセス技術研究組合）・村越 敬（北大）

両連続マイクロエマルジョンや固-液-液三相界面を反応場としたコロイド界面化学は、従来の枠組みを超え、高分子化学・電気化学・分析化学・エネルギー化学等、幅広い分野への展開が進んでいる。本シンポジウムでは、これらの分野において独自の研究を展開している研究者が一堂に会し、そのコンセプトと最先端の研究成果を発表することを通して、新たな展開を切り拓くきっかけとなることを目指す。

#### 4. 粒子分散系がつくる新しい基礎科学と応用技術（企画講演・一般講演）

提案者：米澤 徹（北大）・武田真一（武田コロイドテクノ）

ナノ～ミクロンオーダーの粒子、コロイドやスラリーの液中への分散挙動とその界面で起こる現象についての学理とその応用について議論する。特にコロイドやスラリー中の粒子に着目した分散・凝集のメカニズムを考えるとともに、界面活性剤や両親媒性分子、高分子などを用いた界面物性の制御方法に

ついて知る。さらにはこれらの応用について全体を俯瞰する。このシンポジウムを通じ、粒子分散系の新しい学理と理解し、応用展開をはかる。

#### 5. 信州発！異分野をつなぐコロイド・界面科学（企画講演のみ）

提案者：酒井俊郎（信州大）・金山直樹（信州大）

信州大学にはコロイドおよび界面化学に関係する研究者が多く、例年、多くの研究者が討論会に参加されています。一方で、他分野においてコロイドおよび界面化学に関係する研究をされている研究者も数多くいます。そこで、本シンポジウムでは、信州大学内でコロイドおよび界面化学に関係する研究をされており、他分野で活躍されている研究者をお招きして、参加者の皆様と話題を共有する場としたい。

#### 6. 界面吸着の熱力学とその研究展開（企画講演・一般講演）

提案者：瀧上隆智（九大）・松原弘樹（九大）

界面吸着膜の研究には大きく分けて、界面張力から熱力学的に情報を引き出す「界面熱力学」と、分光学的に界面を直接観察、構造解析する「界面構造化学」の二つのアプローチがある。界面吸着膜は、泡、エマルション、生体膜などコロイド化学の主要な研究対象の基本骨格であるが、これらを物理化学的に理解するには静的、動的両側面において界面状態を正確に把握することが極めて重要である。本シンポジウムでは、このような立場から上記研究課題に新しい可能性を切り拓きつつある最先端の事例について議論する。

#### 7. 固体なのにゲル状態？ $\alpha$ ゲルの謎に迫る研究最前線（企画講演・一般講演）

提案者：山下裕司（千葉科学大）・酒井健一（東京理科大）

$\alpha$ ゲルは準安定状態であり、熱力学的には不安定な状態にもかかわらず古くから様々な工業製品に利用されている。ユニークな感触や高い水分保持能、乳化安定化作用を有することから、近年でも  $\alpha$ ゲルに関する研究報告や応用技術が散見される。本企画では、未だ論争の絶えない非平衡系の学術領域である  $\alpha$ ゲルに着目し、その形成機構や物理化学的特性、さらに  $\alpha$ ゲルを用いた応用技術の理解をめざす。

#### (6) 企業展示

理化学機器・書籍・その他の出展を予定しています。現在、出展者を募集しております。申込・問い合わせ先の詳細は討論会 HP をご覧下さい。

#### (7) 学生対象イベント：

「キャリア探セッション 2017 ～聞いてみよう！仕事のリアル、見つけよう！未来のジブン～」

「キャリア探セッション」は、企業・大学の第一線で活躍している方々のリアルな言葉を聞くことで、学生の皆さんが今後のキャリアを「探求」するステップとなるよう企画されたイベントです。今年は、出口茂先生（海洋研究開発機構）、加賀谷真理子先生（花王株式会社）を講師にお迎えした講演会と、企業研究者等との気楽な雰囲気でのグループトークの二部構成で行います。学会初日の夜を、未来のジブンに出会う3時間にしてみよう！申込詳細は HP をご覧下さい。

日程および場所：9月6日（水） 討論会セッション終了後～20:30（予定）

鶴甲キャンパス（主会場）内にて講演会を行った後、神戸大学生協国際人間科学部  
（旧・国際文化学部）食堂・多目的ホールに移動してグループセッションを行います。

**(8) 若手研究者・大学院生対象イベント：第5回「未来のコロイドおよび界面化学を創る若手討論会」**

コロイド・界面化学分野の将来を担う若手研究者の育成・活性化を目指し、参加型のセミナーを開催します。部会奨励賞受賞者・技術賞受賞者をはじめとする注目の若手研究者から最先端の成果や研究秘話をお聞きしたり、コロイド化学の各分野にわたる同世代の研究者、大学院生と打ち解けた雰囲気でのディスカッションできるグループ討論会、交流会を企画しています。参加費：学生 3500 円、一般 6500 円。詳細は本号の会告をご覧ください。

日程および場所：9月5日（火）14時～ 甲南大学 平生記念セミナーハウス

## 2. 託児施設について

神戸大学近辺の最寄駅（JR 六甲道駅等）を含む神戸市内には認可・非認可の一時保育施設が多数あります。必要に応じて直接施設にお問い合わせ下さい。詳細は

一時保育

[http://www.city.kobe.lg.jp/child/grow/nursery/index\\_02.html](http://www.city.kobe.lg.jp/child/grow/nursery/index_02.html)

<http://www.city.kobe.lg.jp/child/grow/nursery/img/sisetsuitiran.pdf>

および認可外保育施設情報

<http://www.city.kobe.lg.jp/child/grow/nursery/ninkagai/>

<http://www.city.kobe.lg.jp/child/grow/nursery/ninkagai/img/itiran.pdf>

をご覧ください。会場では一時保育施設は開設しませんので、ご了承下さい。

## 一般研究発表の申込みについて（一般研究発表の応募要領）

---

### 発表形式

本討論会ではシンポジウムと一般研究発表での講演を募集します。形式は、「口頭発表」と「ポスター発表」のいずれかです。プログラム編成の都合上、発表形式（口頭／ポスター）や発表セッションおよびセッション分類の変更をお願いすることがあります。

### 発表時間

一般研究発表および国際シンポジウムでの口頭発表時間は、一般講演では**20分（発表12分＋討論8分）**、依頼講演では**30分（発表20分＋討論10分）**の予定です。

### 発表機材

口頭発表には**液晶プロジェクター**を用意します。パソコンは各自ご持参ください。また、パソコンのトラブルに備えて発表のファイルをUSBメモリー等に入れてご持参ください。

\*パソコンを持参できない場合は、あらかじめ実行委員会にお申し出ください。

### 連続発表

同一研究室からの複数の発表について連続した発表を希望される場合は、2番目以降の講演の申込み時に、その講演の直前の講演の演題および第一発表者名を明記してください。ただし、ご希望にそえないこともありますので、あらかじめご了承ください。

### 発表要旨の分量

要旨は、総合講演、依頼講演、口頭発表およびポスター発表の形式に関係なく、いずれもA4判1枚です。

要旨原稿には英文の題目と数行程度の英文アブストラクトをつけてください。英語で口頭発表およびポスター発表をする場合、要旨は、全文英語でもかまいません。

\*講演要旨提出用テンプレートをWEBページ上に設置する予定です。

### ポスター賞

ポスターは、英語での表記を推奨します。ポスター発表のうち、35歳以下（2017年4月1日現在）の若手研究者（大学院生、博士研究員、助教などの発表者）で申込み時に選考を希望した発表の中から、特にすぐれた数人の発表者にポスター賞を授与します。

### 若手口頭講演賞

35歳以下（2017年4月1日現在）の方を対象として、「若手口頭講演賞」を設けます。奮ってご応募ください。（修士課程の学生の方の応募は1研究室原則1名とさせていただきます。詳細はホームページをご参照ください。）

### 発表者資格

依頼講演を除くシンポジウムおよび一般研究発表の発表者は、部会員、日本化学会会員または協賛学協会員に限ります。学生であっても同様の条件を求めますのでご注意ください。コロナおよび界面化学部会への入会手続きについては、部会ホームページ（<http://colloid.csj.jp/>）をご覧ください。

## 講演の申込

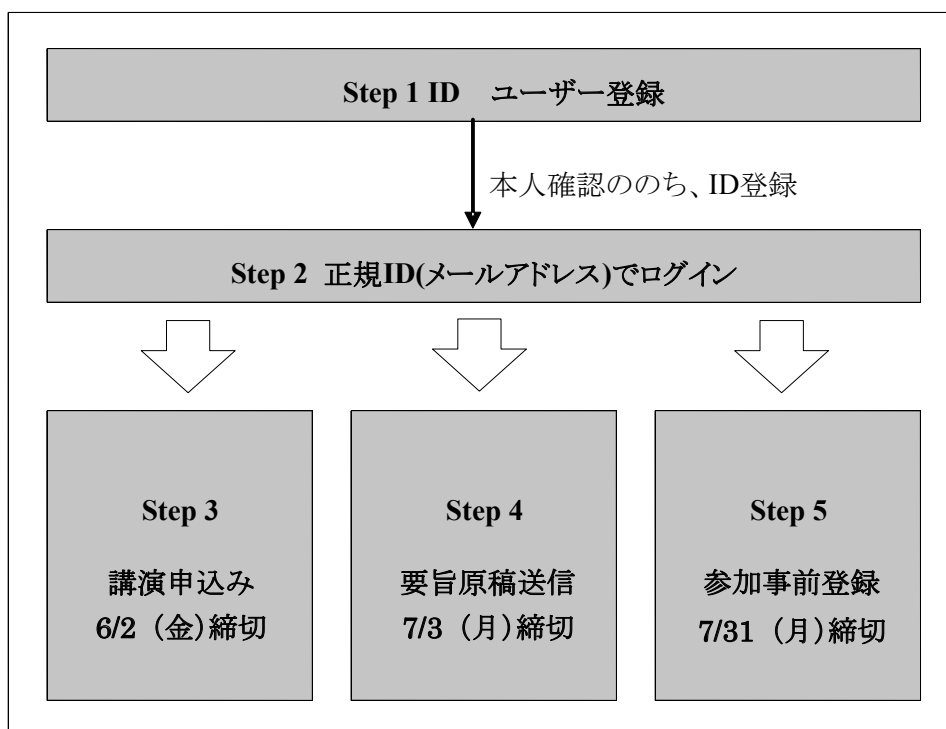
### Web からのオンライン申込みで受け付けます

コロイドおよび界面化学討論会では、「講演申込み」「要旨原稿送信」「事前参加登録」の全てについてウェブページを通じて手続する方式を採用しております。本年も同様に、コロイドおよび界面化学部会ホームページ上に開設された特設サイト ([http://colloid.csj.jp/div\\_meeting/68th/](http://colloid.csj.jp/div_meeting/68th/)) で手続して頂きます。

### 具体的な流れについて

講演を申込み、要旨を提出し、そして参加登録をする……といった各種手続は、以下のように行って頂くこととなります。

#### Web 講演申込みの流れ



## Step 1 ユーザー登録

本年度から「会員番号または協賛学会名」の記入を必須としました。そのため、昨年度までの内容を登録していただいている方にも改めて登録情報を更新していただくため、再度 ID を登録していただくことになりました。ご面倒をおかけ致しますが、何卒ご了承くださいますよう、お願い申し上げます。

**Step1-1 個人情報の登録** 講演申込み、参加事前登録のいずれの場合も、まずユーザー登録を行います。Web 上の申込み画面から、[ID 登録] を選択し、下記の項目を入力して下さい。E-mail アドレス以外の内容は登録後も随時変更可能です。

氏名：

E-mail アドレス：講演番号の通知などを行いますので、確実に受信できるアドレスを指定して下さい。

パスワード：他のウェブサイト等で使用しているものはできるだけ避けて下さい。

勤務先、学校名：

所属、学部名：

郵便番号、住所：参加登録証の送付に使用するので、間違いのないようご記入下さい。

部会会員番号または協賛学会名：入会手続き中の方は「部会入会手続き中」とご記入下さい。

**Step1-2 確認 E-mail を送信** Step1-1 で登録した E-mail アドレスに本登録用 URL と仮 ID が記載されたメールが送られてきます。本登録用 URL にアクセスし、仮 ID (13 文字) と Step1-1 で指定したパスワードを入力して下さい。

**Step1-3, 1-4 送信情報の確認、ID 取得** パスワード確認の後、入力した E-mail アドレスが正規の ID として登録されます。

## Step2 ログイン

Step3 ～ 5 は申込み画面から登録した E-mail アドレスとパスワードでログインして行います。

## Step3 講演申込

締切 6月2日(金)

Web の表示に従って下記の内容を入力し、講演申込みを行って下さい。締切日までは内容の修正を行うことができます。

\* 機種依存文字（丸囲み文字、ローマ数字、各種略記号など）を使用しないで下さい。

\* 項目の中では、コロン、セミコロン、カンマ（いずれも半角）を使用しないで下さい。

\* 上付き、下付き、および斜体の文字は、それぞれ「<sup></sup>」、「<sub></sub>」および「<i></i>」で囲んで下さい。

\* 講演番号等は申込みを行ったユーザーにのみ通知されます。また要旨の送信や内容の修正は申込みを行ったユーザーからしかできません。できる限り発表者自身がユーザー登録をして申込みを行って下さい。

\* 講演申込み者には、6月下旬までに講演番号を E-mail にて通知します。



---

区分： 《一般研究発表 | 一般シンポジウム | 国際シンポジウム》  
分類： [例：一般研究発表 3「組織化膜」(2) 自己組織化膜] 3 (2)  
発表形式： 《口頭発表 | ポスター発表》  
和文題目： [例] コロイド・界面化学の応用  
英文題目： [例] Application of Colloid and Interface Science  
概要： (日本語 200 字以内 | 英文 100 語以内)  
研究場所： [例] コロイド大学 界面研究科  
発表者 1： [例] 界面 粒子、かいめん つぶこ、KAIMEN\_Tsubuko  
発表者 2： [例] 表面 平、ひょうめん たいら、HYOMEN\_Taira  
(以下必要なだけ追加・登壇者に○)  
連続発表希望： [例] 「ナノ粒子の表面科学」 菜野花子 (直前講演の演題と第一発表者)  
ポスター賞：《あり | なし》(35 歳以下のポスター発表についての審査希望の有無。  
「あり」の場合は、生年月日を記入して下さい。)  
若手口頭講演賞：《あり | なし》(35 歳以下の口頭発表についての審査希望の有無。  
「あり」の場合は、生年月日を記入して下さい。)

---

#### Step4 講演要旨原稿送付締切

締切 7月3日(月)

講演要旨集原稿見本を Web からダウンロードし、ログイン (Step2) して作成した要旨を送信して下さい。原稿は pdf 形式のみ受け付けます。講演申込みを行ったユーザーからしか送信できないのでご注意ください。

講演要旨原稿用紙は A4 判 1 枚 (約 2,000 字) で、この中に英語で、演題、発表者名、数行のアブストラクトを入れて下さい。詳しくはウェブページをご覧ください。必ず締切期日までに提出下さい。期日までに提出頂けない場合は、要旨集に掲載されないことがあります。

本討論会から要旨集を電子化し、部会が指定する Web サイトから事前にダウンロードしていただきます。ダウンロードは討論会の参加登録者に限り可能となりますので、出来る限り早めの参加登録とダウンロードをお願いします。なお、ダウンロード開始日は討論会 HP において 7 月中旬に発表します。

また、冊子体として入手を希望される場合は、個人で印刷業者等に注文をお願いします。(要旨集が公開された際に印刷業者の紹介を HP 上で行う予定です。)

#### Step5 参加登録予約締切

締切 7月31日(月)

Web 上でログイン (Step2) して事前参加登録 (Step5) を行うと、合計金額と整理番号が表示されますので、C&I Commun No.2 (本号) に同封の参加登録用紙 (郵便振替用紙) に、Web 上に表示される整理番号を記入の上、お申し込みください。発表申込みを行わず参加をされる方は、ユーザー登録 (Step1) の後、ログイン (Step2) して、事前参加登録 (Step5) のみ行って下さい。なお、今回から要旨集は電子ファイルにより出版され、参加登録された方のみダウンロードにより入手できます。詳細は討論会 HP をご覧ください。

懇親会への参加は当日も受け付めますが、準備の都合上、事前予約をお願い申し上げます。

## 参加登録費

### 参加費

本討論会への参加を頂く際には、下記の参加費を申し受けます。

参加費（要旨集代含む）	予約登録	当日
部会員	¥9,000	¥12,000
協賛学会員（日本化学会員を含む）	¥12,000	¥15,000
一般	¥15,000	¥18,000
学生（部会員）	¥3,000	¥5,000
学生（非会員）	¥5,000	¥7,000
懇親会		
一般	¥8,000	¥9,000
同伴者	¥3,000	¥4,000
学生	¥4,000	¥5,000

### お支払い方法

討論会の参加費支払は、**ゆうちょ銀行・郵便局備付の振替払込用紙**を用いてご送金下さい。

送金先 振替払込口座 口座記号番号 00170-0-6058

加入者名 公益社団法人日本化学会

（郵便局備付の郵便振替用紙でもお支払いは可能ですが、専用振込用紙が便利です。専用振替用紙が必要な場合には E-mail にて部会事務局あてにご請求下さい。郵送にてお送りします。）

日本化学会コロイドおよび界面化学部会事務局

E-mail : dcsc@chemistry.or.jp

\* 部会員登録は、コロイド部会ホームページ (<http://colloid.csj.jp/>) で行うことができますが、会期中には総合受付でもできます。下記の注意事項 1) をご参照ください。法人会員の構成員の方は「部会員」として登録できます。

\* 法人部会員一覧（以下の企業にご所属の方は部会員としての登録が可能です）：旭化成(株) / 味の素(株) / 花王(株) / 川研ファインケミカル(株) / 協和界面科学(株) / 牛乳石鹼共進社(株) / (株)コーセー / 塩野義製薬(株) / (株)資生堂 / スペクトリス(株) / (株)セントラル科学貿易 / 大正製薬(株) / 東邦化学工業(株) / 日光ケミカルズ(株) / (株)日本触媒 / 日本メナード化粧品(株) / (株)パーカーコーポレーション / 富士シリシア化学(株) / プライミクス(株) / マイクロトラック・ベル(株) / ユシロ化学工業(株) / ライオン(株)

## 注意事項

- 1) 部会員でない方も、参加登録時に入会（年会費：日本化学会会員 ¥3,000、日本化学会非会員 ¥4,200、学生 ¥1,500）して頂きますと、部会員扱いとなります。部会員は、年4回の部会誌「C & I Commun」が送付される他、シンポジウムや基礎講座などの各種講座の割引特典が受けられます。
- 2) 要旨集ダウンロードのみの申し込みも行います。Web上の「参加登録」からお申込み下さい。（¥6,000）

## 電子メールを通じて申し込む場合

Webでの申込みがうまくいかない場合、電子メールを下記の必要事項を記入の上、実行委員会までお送り下さい。ウェブページと電子メールのどちらも利用できない場合には実行委員会までご相談ください。

宛先：dcsc@chemistry.or.jp

- ・講演申し込みの場合：メールの Subject 欄に「講演申込み」と記入し、step1、3の内容を（添付ファイルではなく）メール本文に記入
- ・要旨原稿送信の場合：メールの Subject 欄に「要旨原稿送信」と記入し、メール本文に講演番号と step1の内容を記入し、要旨原稿ファイルを添付して送信
- ・事前参加登録の場合：メールの Subject 欄に「事前参加登録」と記入し、step1、5の内容を（添付ファイルではなく）メール本文に記入

## 問合せ・連絡先

---

最新の情報はホームページに掲載いたします。

URL：[http://colloid.csj.jp/div\\_meeting/68th/index.html](http://colloid.csj.jp/div_meeting/68th/index.html)

討論会責任者：第68回コロイドおよび界面化学討論会

実行委員長 水畑 穰（神戸大学 工学研究科）

連絡先：講演・参加申込と支払いについてのお問い合わせ；

第68回コロイド討論会・事務局：E-mail：[dcsc@chemistry.or.jp](mailto:dcsc@chemistry.or.jp)

TEL：03-3292-6163

プログラムなど討論会に関するその他のお問い合わせ；

第68回コロイド討論会・実行委員会：[colloid2017@opal.kobe-u.ac.jp](mailto:colloid2017@opal.kobe-u.ac.jp)